

特別支援だより

令和7年12月19日発行 No.3

矢口特別支援学校長 阿出川 千賀子

本号作成 特別支援部 神崎、渡邊

学校間交流【10月3日】

本校小学部2年生が大田区立多摩川小学校2年生105名の児童と学校間交流を行いました。矢口特別支援学校は1学期に音楽の授業で取り組んだ『音楽メドレー』を、多摩川小学校は『笑顔がかさなれば』をそれぞれ歌や手話で発表しました。交流会の前に多摩川小学校で出前授業を行い『音楽メドレー』のお手本動画を紹介したこともあり、当日は多摩川小学校の児童も一緒に歌ったり、手話をしたりして楽しめました。

パラバルーンでは大きなバルーンを上下に動かしたり、左右に振ったりといつも以上に大きく動くバルーンにみんな大喜びでした。最後はハイタッチでお別れをし、短い時間でしたがとても楽しい交流会となりました。

公開講座【9月～10月】

公開講座とは、都立学校を広く開放し、都民の学習・文化・スポーツ活動の振興に資すると共に、地域に開かれた学校づくりを促進するために東京都教育委員会主催で行っている取り組みです。本校では、「本人講座」「ボランティア養成講座」を開講しました。「本人講座」は、16歳以上の障害のある方を対象にした講座で、豊かな地域生活と社会参加を促進することを目的にした講座です。「ボランティア養成講座」は、障害のある方々への理解を深め、支援を行う人材を育成することを目的にした講座です。

今年度は本人講座6名、ボランティア養成講座15名の計21名が参加し、2回開催しました。

第1回「レクリエーションをしよう」 本人講座の皆さんは、学校探検ラリーやカラオケを通して、久しぶりの再会を喜び合いました。ボランティア養成講座の方と合流してからは「猛獣狩りにいこうよ」で高めたチームワークで「ボッチャ」を行いました。お互いのプレイを応援したり、プレイの成功をハイタッチで賞賛したり、大いに盛り上がりました。「パラバルーン」では、全員で大きな円になり息のあった動きをすることができました。

第2回「みんなでつくろう」 参加者全員でデコパージュを使った共同作品に挑戦しました。羽状の台紙にデコパージュ液とちぎったペーパーナプキンを貼り付け、それを組み合わせて一つの大きな翼に仕上げました。羽一枚ずつに参加者皆さんのオリジナルカラーが込められた、素敵な作品です。作品の題名は、投票の結果「自由の羽」に決まりました。この作品は、矢口祭で展示し、多くの来場者の方に鑑賞していただくことができました。

今年度で本校の「ボランティア養成講座」は最後となりますが、たくさんの方に御参加いただき盛況のうちに終了いたしました。



『自由の羽』

副籍交流について

保護者の皆様の御協力のおかげで交流を実施することができ、感謝申し上げます。直接的な交流に加えて、間接的な交流のお便り交換、作品展への出展なども引き続きよろしくお願いいたします。3学期始業式に「令和8年度 副籍希望書」を配布します。来年度の交流希望を記入いただき、全員の御提出をよろしくお願いいたします。

お知らせ

1月17日(土)大田区の「第24回ものづくり教育・学習フォーラム」が、大森スポーツセンターにて開催されます。本校は今年度も、中学部の作業学習の取り組みについて「展示発表」の部門に参加予定です。